

石川県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 英語教育の状況を踏まえた目標

① 「CAN-DO リスト」形式で設定した学習到達目標を整備する

〈2019 目標値〉 〈2019 達成値〉 〈2020 目標値〉 〈2021 目標値〉 〈2022 目標値〉

【高等学校】

[設定]	100%	98.1%	100 %	100%	100%
[公表]	100%	28.3%	100 %	100%	100%
[達成状況の把握]	100%	52.8%	100 %	100%	100%

【中学校】

[設定]	100%	100%	100 %	100%	100%
[公表]	60%	47.6%	80 %	100%	100%
[達成状況の把握]	80%	61.9%	90 %	100%	100%

【小学校】

[設定]	— %	— %	100 %	100%	100%
[公表]	— %	— %	100 %	100%	100%
[達成状況の把握]	— %	— %	100 %	100%	100%

学習到達目標の「設定」については、中高とも目標値を達成している。「公表」については、中学校においては地域差があること、高等学校においては、單元ごとの目標等を部分的に伝えるだけで、学習到達目標全体を公表していない学校もあることから、目標値に届いていない。また、「達成状況の把握」については、一部の項目について評価できていない学校もあるため、目標値に届いていない。

② 授業における、生徒の英語による言語活動時間の割合を増やす

〈2019 目標値〉 〈2019 達成値〉 〈2020 目標値〉 〈2021 目標値〉 〈2022 目標値〉

【高等学校】	60%	59.6%	75 %	90%	100%
【中学校】	100%	92.8%	100 %	100%	100%

高等学校・中学校共に、目標値をほぼ達成している。

③ スピーキングテスト、ライティングテスト等のパフォーマンステストの実施回数を増やす

〈2019 目標値〉 〈2019 達成値〉 〈2020 目標値〉 〈2021 目標値〉 〈2022 目標値〉

【高等学校】

[スピーキングテスト]

(コミュⅠ)	3回	2.7回	6回	9回	9回
(コミュⅡ)	3回	1.8回	6回	9回	9回
(コミュⅢ)	3回	1.3回	6回	9回	9回
(英表Ⅰ)	3回	1.0回	6回	9回	9回
(英表Ⅱ)	3回	0.9回	6回	9回	9回

【高等学校】

[ライティングテスト]

(コミュⅠ)	6回	2.6回	9回	12回	12回
(コミュⅡ)	6回	2.7回	9回	12回	12回
(コミュⅢ)	6回	2.9回	9回	12回	12回

	<2019 目標値>	<2019 達成値>	<2020 目標値>	<2021 目標値>	<2022 目標値>
【高等学校】					
[ライティングテスト]					
(英表Ⅰ)	6回	3.4回	9回	12回	12回
(英表Ⅱ)	6回	4.2回	9回	12回	12回
【中学校】					
[スピーキングテスト]					
	5回	4.5回	5回	5回	5回
[ライティングテスト]					
	6回	4.8回	6回	6回	6回
中学校では県の目標値をほぼ達成しているが、高等学校では学校間の取組み状況に差がある。					
④ 授業における、英語担当教員の英語の使用割合を増やす					
	<2019 目標値>	<2019 達成値>	<2020 目標値>	<2021 目標値>	<2022 目標値>
【高等学校】	60%	45.7%	70%	80%	90%
【中学校】	90%	90.9%	95%	100%	100%
中学校は目標値を達成しているが、高等学校では学校間の取組み状況に差がある。					
⑤ 求められる英語力を有する英語担当教員の全英語担当教員に占める割合を増やす					
	<2019 目標値>	<2019 達成値>	<2020 目標値>	<2021 目標値>	<2022 目標値>
【高等学校】	94%	92.6%	96%	98%	100%
【中学校】	50%	44.1%	55%	60%	70%
高等学校教員、中学校教員ともに県の目標値をほぼ達成している。					
⑥ 求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合を増やす					
	<2019 目標値>	<2019 達成値>	<2020 目標値>	<2021 目標値>	<2022 目標値>
【高等学校】	50%	49.2%	55%	60%	60%
【中学校】	60%	48.8%	60%	60%	60%
国の目標値（50%）をほぼ達成している。					
⑦ 新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合を増やす					
	<2020 目標値>	<2020 達成値>	<2021 目標値>	<2021 達成値>	<2022 目標値>
【小学校専科】					
[割合]	12%	12.1%	15%	16.3%	15%
[人数]	17人	17人	20人	22人	20人
現段階では、目標は達成できている。					

(2) (1) の目標を達成するための取組

石川県教育委員会の施策の全体像

大学と連携した英語教育の充実に向けた取組み

[小中学校]

○英語教育指導アドバイザー（大学教授等）の派遣

新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の円滑な実施に向けて、指導内容・指導方法等の共通理解、考えや気持ちを伝え合う対話的な活動を重視した授業実践を行う。

- ・授業参観及び指導・助言
- ・アドバイザーから収集した情報をもとに、県の課題を明確にし、指導・助言に活かす。

[高等学校]

○大学教授による授業参観及び指導・助言

「話すこと(やり取り)」の指導・評価についての改善に向けて指導内容や指導方法の情報共有を図り、各校への普及を図る。

- ・授業参観及び指導・助言
- ・モデル校（4校）による公開授業
- ・話すこと（やり取り）に関する指導方法や評価方法などをまとめた改善計画を作成し、各高等学校で実践する。

○「話すこと(やり取り)」に係る指導力向上セミナーの開催

外部講師（大学教授）を招聘し、授業での「話すこと（やり取り）」の指導法や評価法、ディベートやディスカッション実施法の習得を図る。

石川県教員総合研修センターの研修の全体像

[小学校]

研修名 「学習評価から見直す指導の在り方～授業力 up～」

対象者 小学校教員・英語専科教員

目的 外国語活動・外国語科の指導と評価についての理解を深める。

[中学校・高等学校]

研修名 「生徒の発信力を高める授業づくり～中学校英語～」
「生徒の発信力を高める授業づくり～高等学校英語～」

対象者 中学校英語担当教員
高等学校英語担当教員

（3年目・6年目・中堅教諭研修受講者は必ず受講する。希望者も受講可能。）

目的 「話すこと」「書くこと」を中心に4技能統合型の授業づくりについて理解を深め、実践する力・評価する力を高める。

外部専門機関との関わり等

ブリティッシュ・カウンシルから派遣される外国人講師による英語漬けの集中研修を実施する。（1日×2日間）

「CAN-DO リスト」形式で設定した学習到達目標の整備状況を改善するために、小学校では CAN-DO リストの作成と活用、中学校では既存の CAN-DO リストの改善を進めてきた。また、英語教育強化拠点校を中心に、小中連携を踏まえた CAN-DO リストの作成にも取り組み、今後も引き続き、学校訪問等を通して活用状況を把握し、必要に応じて改善に向けた指導・助言を行っていく。高等学校では、CAN-DO リストの作成状況は、これまでのところ良好であるが、新学習指導要領への移行に向けて CAN-DO リストを見直していく。全校種において、CAN-DO リストの公表及び達成状況の把握について、学校訪問等での指導・助言により改善を促していく。

また、スピーキングテスト、ライティングテスト等のパフォーマンステストについては、中学校においては、研修や学校訪問等で、文部科学省の評価に関する参考資料などを紹介し、質の向上を図っていく。高等学校においては、発信系技能の適切な評価やそれに基づく指導の改善について研修を実施しており、今後学校訪問等を通して、適切な改善が図られていくよう促し、県の目標値に近づけるように努めていく。

(3) (2) を実施する体制の概要

石川県教育委員会の施策（大学と連携した英語教育の充実にに向けた取り組み）の体制





